いたやなぎ 町議会だより

令和５年
６月定例会

第38号
2023. 8. 10

～議会を傍聴しませんか～

住所、氏名、年齢を記入していただければ、
どなたでも本議会を傍聴することができます。
お気軽にお越しください。

主な内容

●７人が一般質問　Ｐ２～８
●常任委員会審査
特別委員会報告　Ｐ９
●一目で分かる審議結果　他　Ｐ10～11
●視察研修　他　裏表紙

町民の声を町政に

第１４回定例会一般質問

第14回板柳町議会定例会が6月５日から9日までの日程で開催されました。６月７日に行われた「一般質問」に、7名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

板柳町議会では、１人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、１人1ページ相当の文章量までとし、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

町長の方針について

問 **就任後、最優先課題は、何を考えているか。**

答（葛西町長）

私は、このたびの選挙において、こころ豊かな誇れる「りんごの里づくり」を目指し、７つの公約を掲げている。どれもが町にとっての重要課題であり、町民の皆さんの声を聞き、議員の皆様、職員との対話を大切にし、一つ一つ確実に実行していく覚悟である。そのためにまず、町民の皆様にご不便をおかけしていたふるさとセンターバーベキュー施設の整備に着手する。

その他、人口減少対策をはじめ、子育て支援、統合小学校など、たくさんの町民の皆様の声をしっかりと受け止め、職員と一緒に全力で取り組んでいく。

町民人口増について

問 **我が町を出て、都会に行った人を取り込むためには、退職後の人達を呼び戻すことが大事だと思う。その人達がくるための施策が必要と思うが。**

答（葛西町長）

都会へ出ていった方に加え、例えば第２の人生、セカンドライフとして板柳に移住していただき、りんごづくりを始める、自然に触れる、どんな目的でも町にとって大変喜ばしいことである。さらに、そういった方々は様々な経験をしているので、その経験をまちづくりに取り込めれば、なお喜ばしいことであると思う。

人口の増加という点においては、そういった方だけでなく、あらゆる世代の方々に板柳に住みたい、住んでみたいと思えるまちづくりをすることが大切であると考えている。

問 **退職後の人生は充実した大人の大事な時期だと思う。これからある東京板柳会の場などで、「ぜひいらしてください」というふうなメッセージを発信していただきたいと思うが。**

答（葛西町長）

都会から来ていただき、セカンドライフ、残った人生を生まれたところで過ごしたいという方たちを尊重しながら、各課の皆さんと検討して、前向きに考えていきたい。

高校生への通学費補助について

問 **好き、嫌いに関係なく、町外へ通学せざるを得ない現状であり、必要と思うが。**

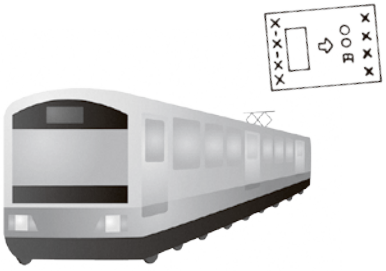
答（葛西町長）

町では現状、高校生までの子ども医療費の無料化など、子育て世帯への支援は形を変えて独自助成しているが、直接的な交通費への助成は行っていない。しかし、「図書券も嬉しかった」という声もいただいている。他事業との兼ね合いや財源などの問題もあり、今ここで実施するとは答えられないが、担当課と協議し前向きに検討していく。

問 **先日調べたところ、板柳から弘前までの通学定期代は６か月で３万６，５３０円である。大変な負担であると思うが。**

答（葛西町長）

スピード感を持って、早く財源を捻出して、一日も早く助成できるように努めていくのでご理解いただきたい。



人流の創出について

問 **これまでに実施してきた人流の創出に関する事業実績について伺う。**

答（葛西町長）
りんご灯まつりやまるかじりウオークなど各種イベント事業やふるさとセンターを中心とする観光面での取組も人流に関わるものと捉えている。
　また、移住定住につなげるため、近年取り組んできた子育て世帯や若者夫婦を支援する住宅取得費用の助成事業をはじめ、新婚生活の引っ越し費用や家賃補助、固定資産税相当額を補助する子育て住宅取得補助金などのほか、高校生までの医療費助成や出生祝金なども人流の促進につながるものと捉えている。
　また現在、毎年のように町内の農家に民泊滞在している明治大学農学部竹本ゼミとの交流では、学生たちが感じた町の良い点や活性化策などをご提案いただいている。さらに、滞在した農家の方との交流から大学祭において学生たちが板柳産のりんご展示即売会を催すなど関係も深まりを見せている。

問 **今後の人流の創出に関する考え方について伺う。**

答（葛西町長）
人口減少社会の中で地域の活力を維持していくために、特に関係人口の拡大という視点は大事なことであると考えている。今後これまでの取組を基に時代に合った形で人流の創出に努めてまいりたいと考えている。

問 **今のアフターコロナにおいても、当町の交流人口は減ったように思うが。**

答（葛西町長）
とても交流人口は減っていると感じている。この交流人口を増やすために板柳町という地域性、津軽地方のど真ん中にあるのが板柳町である。そのため津軽地方、また県内から人を呼んで、文化的なものやスポーツ関係のもので地域性を生かしながら交流人口を増やしていきたいと思っている。

問 **ぜひスポーツを通じた交流人口の創出というのもやっていければと思うがいかがか。**

答（葛西町長）
私は、やはりスポーツは人づくりだと思っている。これから担当課・担当団体・関係団体と協議しながら、板柳でスポーツフェスティバルのようなものができるように前向きに考えていきたい。

中学校部活動の安定・継続を確保するための財政支援について

問 **板柳町スポーツ振興基金や板柳町人材育成基金はこれに充てることが可能なのか。**

答（葛西町長）
スポーツ振興基金、人材育成基金のいずれも事業に充当することは可能である。

問 **スポーツ振興基金をスポーツに充てることができるという話だったが、吹奏楽部など、文化系の部活動のほうにも支援するような施策というのが必要ではないかと思うが。**

答（葛西町長）
町及び教育委員会としては保護者負担の軽減を図ることで児童及び生徒がよりスポーツや文化活動に取り組みやすい環境づくりが大切だと考えている。今後は昨年11月に設置された板柳町小中学校スポーツ・文化活動検討委員会において支援内容を検討し、中学校部活動においても安定的・継続的に活動できるように取り組んでいく。

問 **運動部であっても文化部であっても、年間通じた費用というのがそれぞれかかる。さらに大会や遠征があると、親も応援に行ったりするので、家庭の負担がそれなりに膨らんでくる。今のスポーツ振興基金を発展的に改正し、板柳町スポーツ文化芸術振興基金として裾野を広げ、町内の子ども達の夢への補助をしてはいかが。**

答（葛西町長）
文化部もスポーツと同じ考えで捉えている。中学校の部活動は任意加入となるが、生徒数の減少に加え、部員数の減少に伴い部費も減少する。学校で管理する会計予算などから部活動支援費を捻出し、工面しているとも伺っている。しかしながら、さらに不足する分については、各生徒の家庭に負担していただいているとも伺っている。板柳町小中学校スポーツ・文化活動検討委員会においても、中学校部活動の安定、継続が確保されるにはどのような支援が求められているのか、今後協議し、文化部のほうにも支援するように検討していく。

統合小学校の整備について

問　**既存小学校は町の端に偏っているので、スクールバスを運行するにも保護者や町民の中で混乱や不公平感が生じ、場所選定に課題を残すと思うが。**

答（葛西町長）
最もふさわしい既存施設が統合小学校に選定され、整備していくことを保護者の皆様にきちんと説明させていただき、保護者の負担が大きくならないよう対応してまいりたい。

問　**既存小学校の各教室や給食室、駐車場などの規模でも、4校統合に必要なスペースを十分に確保できるのか。**

答（葛西町長）
統合小学校として選定される校舎は限られる。選定する中で、教育活動に必要なスペース等を確保していけるよう、教育委員会と協議し、進めてまいりたい。

問　**東小学校以外の3校は改修しても数年後には改修時期を迎えるといった問題が指摘されているが。**

答（葛西町長）
施設の現状について調査を行い、学校施設の長寿命化が図られるような改修方法を教育委員会と協議しながら進めてまいりたい。

問　**数億円程度で既存施設を改修し、費用を抑える方向を提案しているが、その程度でできるのか。**

答（葛西町長）
利活用する既存施設の選定、具体的な改修費等はこれから精査し、コストを抑えるような改修方法を検討してまいりたい。

問　**未来を担う子ども達にとって、快適に安心して学びたいと思える学校をつくるのが行政の仕事だと思うが。**

答（葛西町長）
既存施設の利活用であっても各教室にエアコンの設置や洋式トイレの増設など必要な改修工事を実施し、子ども達が快適に安心して学びたいと思える学校づくりを進めてまいりたい。

問　**新設のための事業費を約40億円とした場合、「実際の町の負担は約10億円と見込まれる。3月末で町の財政調整基金は14億を超える」と新聞に掲載されているが、それ以外に活用できる基金がないのか。また、一般会計において、基金が総額でどれくらいであり、その詳しい中身は。**

答（山口企画財政課長）
令和4年度末現在の一般会計の基金残高は総額で41億7，469万7，000円である。順に、①町の財政の健全な運営を行うための基金である財政調整基金14億1，747万5，000円、②町債の償還の財源に充てるための減債基金9億8，328万1，000円、③町が行う公共施設の整備の財源に充てるための公共施設等整備基金12億5，043万5，000円、④学校施設の整備に要する経費の財源に充てるための学校施設整備基金4億8，717万2，000円、⑤町のスポーツ振興を図る費用に充てるためのスポーツ振興基金3，411万4，000円、⑥町の発展に寄与する人材を広く育成するための人材育成基金122万円、⑦地域における高齢者の福祉の増進を図るための福祉基金100万円の7つである。

　このうち統合小学校を新設する場合の建設費に活用できる基金は、財政調整基金、公共施設等整備基金、学校施設整備基金であると考えている。

問　**町長は「職員の話しに耳を傾け」「若い人たちの意見をどんどん取り入れる」と自信を持ってあいさつしているが、職員の意見や進言によっては、公約の既存施設の改修を変更することもあるのか伺う。**

答（葛西町長）
私は小学校統合の推進と既存施設の利活用は、新築ありきではなく、既存施設を有効活用した整備を進めることとしているので、変更することは考えていない。

問　**小中連携教育の取組が必要だと思うが。**

答（葛西町長）
小中連携は必要と思うが、同じ場所になくてもできるのではないかという考えである。

議会を傍聴しませんか　次の定例会は９月です

＜議会日程のお知らせ（予定）＞

日　時	内　容
9月　1日（金）　午前10時	開会
9月　4日（月）　午前10時	一般質問
9月　5日（火）　午前10時	常任委員会
9月　6日（水）　午前10時	決算特別委員会
9月　7日（木）　午前10時	
9月　8日（金）　午前10時	採決・閉会

住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。ただし、発熱等の症状がみられる方はお断りする場合があります。

町ホームページ掲載の工事関係の入札結果について

問 さきの町長選挙において、町長は町民目線で町政を進めると訴えており、入札に対して町民に誤解を持たれないように公平性、公正性を持って業者の指名にあたっていると思うが、町長の見解を伺う。

また、去る5月15日に執行された入札のうち飯田地区排水路修繕工事については葛西町長が初めて自ら指名したと思うが、町のホームページを見ると6業者を指名している。その指名に当たっての心境と、どういったお考えで業者を決めたかをお聞かせいただきたい。

答（葛西町長）
これまでは談合情報の影響で町の入札は常に不正を疑われてきたので、今後は町民目線においてもこれまでとは違う、不正はないと信じてもらえるような入札にしたいと考え、実際そういう願いを込めて指名を行った。

問 建設業は地域経済や地元雇用を支え、災害時の緊急対応など、地域社会に大きく貢献されていることを鑑み、地元の業者ができる工事であれば、できるだけ町内業者の受注機会の確保に努めるべきだと思うが。

答（葛西町長）
競争が必要だと考えるものに関しては範囲を広げる必要があると思うが、問題なく入札・契約・工事ができるのであれば町内業者にお願いしたいと考えている。

問 指名競争入札は、企業間での談合や発注機関との癒着が生まれやすくなるといったリスクを抱えている中で、透明性・公平性・公正性の高い一般競争入札を導入する自治体が多くなる傾向にあると伺っているが、町長の考えは。

答（葛西町長）
当町も5，000万円以上の工事については一般競争入札を導入している。昨年は議会でも問題になった病院の屋上の防水工事については条件付一般競争入札で実施しているので、今後も活用していきたいと考えている。

ただし、先ほど話したとおり町内業者でできる工事は町内業者でという考えで、指名競争入札も必要であるので、近隣市町村の情報なども入れながら対応していきたいと考えている。

問 町が発注する公共工事の入札の指名は、町民の誤解を招かないように公平性、透明性に一層努めなければならないが、このことについて町長の考えは。

答（葛西町長）
これまでの当町の入札は常に談合を疑われてきたという現実がある。真偽は当然不明だが、談合情報が複数回新聞社に送られるといった事案が発生している。他の自治体では首長や担当課長が逮捕される事案も発生しているので、町民の皆さんからこれまでとは違う、不正はないと信じてもらえるような入札を行いたいと考えている。

問 5月15日の下水道工事の入札で、最低制限価格に対して落札率が99.99％の件が1件あったが、この結果をどう受け止めているか。

答（山口企画財政課長）
現状として、近隣市町村でも最低制限価格に対して100％というのが大変増えているので、あり得ることであると考えている。

問 2回目の入札が6月2日に行われ、結果が町ホームページに載っているが、この中で歩道工事1件と下水道工事関係2件については同じ4業者が指名されている。このほか町内で同等の業者というのはないのか。

答（山口企画財政課長）
町内に土木関係業者はほかにもいる。今回の指名に当たっては町長の考えで契約、入札にふさわしいという考え方で指名していると思う。

問 4業者以外にも同等の業者がいるということで、こうした業者も増えることで、公平性、競争力、工事費の削減にもつながるのではないかと思うが。

答（葛西町長）
「今までと違う」、「不正はないよ」という思いから町民の皆さんが納得できるような入札にしたいということで、今回私はそのようにさせていただいた。

問 6月2日の農道の舗装工事の入札に参加した業者について、町内側と町外別に参加業者の数は。

答（山口企画財政課長）
町外業者が5者指名されて入札、執行している。

問 町内の業者が一者も入っていないが、これは町外の業者でなければできない工事なのか。

答（山口企画財政課長）
今回の農道舗装工事に関しては、設計金額により県のA級という等級ランクを持った業者が入札に参加できるとの考えでの指名である。

問 私は地元の業者ができる工事であれば、できるだけ地元の業者を使っていただきたいと考えるが。

答（葛西町長）
地元の業者も前向きに検討させていただく。

統合小学校の整備について

問 **小中学校が同じ場所にあると、小中学生を持つ保護者にとって子ども達の送り迎えが便利なほか、スクールバスの運行経路の効率化も図られると思うが。**

答（葛西町長）
統合小学校が既存施設の利活用であっても、なるべく児童の保護者の負担が大きくならないよう配慮し、スクールバスの運行等を工夫し、対応してまいりたい。

問 **共働き世帯が増加する中で、学童保育は多くの児童に利用され、小学校と同じ場所に施設があると便利と思うが、現状ではどの小学校も場所が狭い。どのような考えか。**

答（葛西町長）
統合小学校は既存施設の利活用となるので、学童保育がこれまでと同様に統合小学校の校内での実施が可能か、校外の施設の利用にしなければならないかなど、教育委員会と町担当部局に今後調査させたい。

問 **成田前町長が公約に掲げた統合小学校の新設は、アンケートや地区懇談会、審議会の議論を経て、保護者や町民の意見を取りまとめたものである。これを踏襲しないということは、どんな手法で統合小学校を進めていくのか。**

答（葛西町長）
私の公約は、統合小学校は町の財政等を考え、使える施設は使ったほうが良い、新設せず改修できるものは改修して既存施設の利活用をするというものである。その意見にご賛同いただき、町民の皆様のご支持をいただいたものと実感している。そのため、新築せず、どの既存施設が統合小学校の利活用にふさわしいのか、教育環境の整備にはどのくらい改修費用が必要になってくるのか調査し、小学校の統合を進めていきたいと考えている。

問 **4月20日の東奥日報の記事によると、葛西町長は、「今は資材が高騰しており、町試算の40億円では済まない。倍近くになるとの試算もある。」と指摘しているが、何を根拠に言っているのか。**

答（葛西町長）
40億円という金額は、令和2年2月に完成した中学校校舎の整備に要した費用を基に、町が以前試算したものだと認識している。令和5年現在における世界的物価高騰や人件費高騰などの背景から考えてみても、明らかに40億円の予算では新築できないことを指摘したつもりである。

問 **開校の時期はいつ頃をめどにしているか。**

答（葛西町長）
まだ教育委員会との打合せを行っていないので、今の段階でいつ統合小学校開設という部分は今申し上げることできない。

問 **現在町のホームページから統合小学校のデータが削除された。そのアンケートには、4つの小学校を1校に統合し、板柳中学校に隣接して新校舎を建設してほしいと答えた方が約半数の46％と最も多いのに対し、既存小学校の施設を利用してほしいと答えた方が3％だったと思うが、この結果をどのように受け止めているか。**

答（葛西町長）
今回選挙戦の争点は小学校の新築と既存施設の利活用の部分が一番の争点になったと私は認識している。したがって、私は統合小学校については既存施設の利活用だと受け止めている。

流雪溝の整備について

問 **私が住んでいるいたや町や文京町はまだ流雪溝が作られていない。私も今年で72歳となり、2年続きの大雪で雪片付けは大変な作業となっている。特に、一人暮らしの高齢者の方は大変な状態で、町民から多くの苦情が来ている。いたや町、文京町においても、一日も早く整備してほしいと思うが、整備計画はどうなっているのか。**

答（葛西町長）
現在、岡本玉川環状線、田中錦町区域で流雪溝を兼ねた歩道整備を令和4年度からの数年計画で進めており、本路線の整備促進に努めたい。その後においても流雪溝については順次整備を進めてまいりたい。文京町、いたや町を含む住宅密集地の冬期間における生活環境にご不便が生じないよう、除排雪の強化に努めていく。

問 **岡本玉川環状線の整備はいつ頃完成するのか。**

答（葛西町長）
順調に整備が進むと令和11年度に完成と想定している。

問 **町全体の流雪溝の整備状況はどうなっているのか。**

答（葛西町長）
町全域における町道、県道及び国道に占める流雪溝の整備率はおよそ6．3％となっている。

問 **独り暮らしの高齢者の雪対策として、葛西町長の考えは。**

答（葛西町長）
除雪対策について、特にひとり暮らしの高齢者の家庭については検討するよう指示している。今まで以上にまめに行うようにするので、何とぞご理解をいただきたい。

令和5年度当初予算について

問 **令和5年度当初予算を組み替える考えはあるか。**

答（葛西町長）公約の実現に向けて、各種事業に関しては担当課・担当職員と今後検討していくが、基本的に予算の組み替えは考えていない。

新しい町づくりについて

問 **アフターコロナや物価高騰をどのように対処しながら進めるのか。**

答（葛西町長）現状は町独自の事業を予算化できていないが、国・県の事業の動向を注視し、町としての対応を進める。

小学校統合問題について

問 **統合小学校の設置をどのように図るのか。**

答（葛西町長）最もふさわしい既存施設が統合小学校に選定され、整備していくことが望ましいと考えている。

水害りんご園地の移転について

問 **水害りんご園地の移転促進をどのように図るのか。**

答（葛西町長）浸水被害農家農地取得補助金1，200万円を計上している。被害を受けた農地の移転促進につながってくれればと思う。

子育て環境の充実策について

問 **子育て環境の充実をどのように図るのか。**

答（葛西町長）子育て世帯の声を聞き、経済的な支援をはじめ、必要な支援に鋭意取り組んでいく。

街路灯整備について

問 **東雲町・栄町・仲町・大町の街路灯整備の考えはないか。**

答（葛西町長）関係団体で協議し、どのような支援が可能なのか考えていく。

問 **街路灯の事業費はどの程度かかると思うか。**

答（大井総務課長）大体1基当たり30万円で約100基あるので、3，000万円程度の予算だと認識している。

問 **4町内会はずっと自前で地域の民生の安定、防犯に貢献してきた。旧市街地に関しては住環境の整備という意味では地域の民生の安定と防犯に寄与してきたということを鑑み、前向きに検討していただきたいが。**

答（葛西町長）4町内会の商店街が今まで頑張ってきたことを考えて私は前向きに設置しなければと考える。

常盤町踏切前後の県道拡幅について

問 **常盤町踏切前後の県道拡幅促進を図る考えはないか。**

答（葛西町長）JRと踏切部の拡幅改良の協議も進んでいる。

不当要求行為等の防止について

問 **板柳町不当要求行為等の防止に関する要綱は機能していると考えるか。**

答（葛西町長）要綱は機能していると考えている。

問 **令和4年3月議員発議で制定された板柳町建設業者公正公平育成条例第2条に「公共工事標準積算基準（単価・歩掛）等について、指名競争入札に応じる業者の求めに対して指導する」とあるが、町が定めた実施要綱第4条「指導内容は、積算資料の種類等に留める」としている。これは上位法である条例の2条に反していないか。**

答（山口企画財政課長）反していないと思う。

問 **反していないのなら根拠・理由・法的にきちんと説明いただきたい。**

答（山口企画財政課長）条例は単価の数値を報告するという形ではない。要綱では種類にとどめると言っているが、数値を調べれば出せるような形である。

問 **財政課長おかしいでしょう。問題にしたのは、見積単価に関してである。話をすり替えないでほしい。**

答（山口企画財政課長）数値等積算に直接関わるものに関しては、企画財政課は無知であるので、直接数値に関わらないものに関して回答するような形をとっている。

問 **無知な担当課に任せておいていいのか。**

答（長内副町長）地域整備課と企画財政課を一体化した場合は弊害が出てくると思う。

問 **弘前市は国の指導で、業者の癒着を無くするという大義名分で管財課をつくっている。弘前市はうまく機能している。それは管財課にきちんと技官がいるからである。技官の数は限られている。国と同じやり方は私は同意できない。町長、副町長と相談してそのあたりはやっていただきたい。無知だと言われると、不安である。**

新町政となり、今後の町政運営にあたり町長の見解について

問 **ふるさとセンターへのアクセス道路整備計画の必要性について町長の見解を伺う。**

答 （葛西町長）
老朽化する様々な公共施設、設備の更新が課題とされる中で、巨費を投じて新たな道路を整備する必要性はないと考えている。

問 **私もアクセス道路をやらない事に賛成である。また、1か月足らずでバーベキュー施設の設計業務に入っていくというスピード感のある流れであるが、雪が降る事も考えた工期を取り、予算計上についても進めてほしいと思うが。**

答 （葛西町長）
私は令和5年度に予算化して工事を発注し、来年の4月にはオープンしたいと考えている。

問 **耐震不足が指摘され、老朽化が進む役場庁舎やその他の老朽施設について見解を伺う。**

答 （葛西町長）
当町の公共施設は老朽化が進み、改修や建て替えが必要な施設が数多くある。今後も板柳高校の利活用をはじめ町民生活が不便にならないように各施設の整備を進めてまいりたい。

問 **十分に内部で協議し、全課共通認識で行っていただきたいと思うが。**

答 （葛西町長）
私一人で考えても解決できるものでない。これから課長会議を月に2回開催するので、その課長会議の中で話合いをしたい。

問 **水洗化がされていない消防団屯所整備について見解を伺う。**

答 （葛西町長）
屯所の老朽化が進んでいる。5か所を除いては耐震不足、水洗化されていない状況である。今後も消防団と協議を重ね、屯所やポンプ自動車等の整備に努めていかなければならないと考えている。

問 **水洗化や各分団の統合も検討するにあたり、まずは一番現場を分かっている消防団に案をつくっていただき、それをベースに町でいろいろ検討し、最終判断をするという流れがスムーズにいくと思うが。**

答 （葛西町長）
行政主導で屯所の建設計画を立てるのはいかがなものかと思っている。やはり一番実情を分かる消防団の方が議論して計画書を上げていただき、それを町で検討しながら順次整備していく流れが一番スムーズにいくのではないかなと認識している。

問 **穴だらけの町道が目立つ舗装整備の必要性について見解を伺う。**

答 （葛西町長）
管内町道の路面状況は状態の悪い箇所も多く見られ、十分な整備状況とは言えないものと認識している。また、本年度新たに管内町道の路面性状調査に着手している。今後も計画的な整備に努めていきたい。

問 **おそらく今の予算取りでは今のままが限界である。一度、計画的に町道の整備という項目で予算を正規につけて、大がかりに計画していく必要があるのではないかと思うが。**

答 （葛西町長）
来年度からでもやはりきちんとした道路計画を立て、道路整備に着手していきたいと考えている。

問 **町の災害、防災に対する取組について見解を伺う。**

答 （葛西町長）
避難所の開設訓練等は既決予算で実施できればと考えている。今後も防災に対しての意識の向上を図り、町民の安全を守ることが大切だと考えている。

問 **災害があったときには、町長を本部長とし、町民の安心安全を守る行動を取る。町の職員もいつ来るか分からない災害に対して、1回訓練すればいいと思っているのであれば、それは大きな間違いだと思う。私は町として定期的、最低年に1回、大がかりな訓練が必要だと思うが。**

答 （葛西町長）
私自身、防災訓練は必ず毎年やらなければいけないと思っている。災害があったときは私と副町長が先頭を切って職員に指示し、現場に向かわなければいけないと認識を副町長と確認した。

問 **あらゆる分野においての人材育成について見解を伺う。**

答 （葛西町長）
必要な人材育成については積極的に取り組んでまいりたい。

問 **人材育成については予算が少な過ぎるように感じている。町長は人と人のつながりは財産であるという文句を掲げていた。今までにないような人材育成、これにも取り組んでいただきたいと思うがいかがか。**

答 （葛西町長）
今回予算の組替えは考えていないが、来年度は人材育成のための研修費にしっかり予算をつけていきたいと考えている。やはりいろんなところに出て交流をしながら進めていかなければと思う。

常任委員会審査

総務産業厚生常任委員会

■ふるさと納税

Q ふるさと納税は目的を持って寄附されていると思うが、どのように分かれているのか。

Ⓐ①「未来につなげる産業づくり」、②「健康で子どもを育むまちづくり」、③「住みたいと思えるまちづくり」、④「ふるさとセンター魅力発信販わいづくり」、⑤「自治体におまかせ」となっている。

Q ②「健康で子どもを育むまちづくり」、⑤「自治体におまかせ」はどのくらいか。

Ⓐ件数にして1万273件のうち、「健康で子どもを育むまちづくり」は3，658件であり、5，100万円ほどである。「自治体におまかせ」は4，100件であり、5，659万円ほどである。

福祉建設文教常任委員会

■マイナンバーカード

Q 連日、個人情報の入力ミスなどが問題となっている。このような自治体単位でのトラブルは把握しているものか。

Ⓐ国から調査などはきているが、当町で該当はない。

■令和4年度の除雪費

Q 除雪費の総額を伺う。

Ⓐ令和4年度の除雪費は合計で4，025万4，296円である。

■保育所の建設

Q まだ基本図関係はできていないのか。

Ⓐ現在、実施設計が始まったところであると報告を受けている。

■スポーツ少年団に関する補助金

Q スポーツ少年団の設置にあたり何か条件はあるのか。

Ⓐ細かい規約等については確定はしていないが、この補助金の基本は夢を持った子ども達の活動する場を確保していくということを考えているので、大会に出場することだけが活動の理念ではないと考える。

■小学校地下貯蔵タンク流出防止対策工事

Q 工事内容を伺う。

Ⓐ南小学校及び北小学校に地下タンクがあるが、築40年過ぎる頃には改修が必要である。地下のタンク内にコーティングし、地下に油漏れしていかないように流出を防ぐ工事である。

陳情等の審議結果

◆陳情

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書について

採択

特別委員会報告

小学校統合問題検討特別委員会

第14回定例会での今浩一委員長の報告内容です。

町議会議員補欠選挙の結果、新たに「楠美仁康」さんが当選した事を受けて、当特別委員会の委員となりました。そこで、これまでの経緯等を説明し、当委員会としての考え等を再確認致しました。

不当要求行為調査特別委員会

第14回定例会での鈴木清孝委員長の報告内容です。

本特別委員会は、令和4年3月定例会にて質疑応答があった、板柳中央病院事務長に対する不当要求行為に関することを付議事件とし、議会において詳細な調査を行うために、令和4年4月22日、全議員12名により、調査が終了するまでの期限にて、議決により設置されました。

以来、全5回の委員会を開催し、審議して参りましたが、一昨日の一般質問においても、葛西町長より、「要綱は、機能しているものと考えている」との答弁があり、また、当事案の当事者である不当要求行為等防止対策委員会前委員長の前副町長も既に交代されており、当委員会の役割は終了したものとして、委員会の調査を終結することといたしました。

いたやなぎ町議会だより「夢追人」を募集しています！

内　容：表紙写真の掲載
町内在住、男女年齢・個人団体問わず。大人の方でも大歓迎!!

募集期間：随時募集

選考方法：議会広報特別委員会で審査を行い、選出します。

問合せ：板柳町議会事務局（73-2111）

一目で分かる審議結果

○審議された議案　　◆第14回定例会（令和5年6月）

議案番号	議　案	結　果
承認第1号	専決処分の承認（板柳町税条例の一部を改正する条例）	承認
承認第2号	専決処分の承認（板柳町半島振興対策実地地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例）	承認
承認第3号	専決処分の承認（板柳町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例）	承認
承認第4号	専決処分の承認（令和４年度板柳町一般会計補正予算）	承認
承認第5号	専決処分の承認（板柳町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例）	承認
同意第1号	板柳町副町長の選任（長内伸夫氏）	同意
同意第2号	板柳町教育委員会教育長の任命（髙橋幸治氏）	同意
同意第3号	板柳町固定資産評価審査委員会委員の選任（斎藤多嘉幸氏）	同意
同意第4号	板柳町固定資産評価審査委員会委員の選任（三戸清氏）	同意
同意第5号	板柳町農業委員会委員の任命（福士祐也氏）	同意
同意第6号	板柳町農業委員会委員の任命（小野一男氏）	同意
同意第7号	板柳町農業委員会委員の任命（佐藤利光氏）	同意
同意第8号	板柳町農業委員会委員の任命（楠美英輝氏）	同意
同意第9号	板柳町農業委員会委員の任命（田中繁行氏）	同意
同意第10号	板柳町農業委員会委員の任命（三浦照仁氏）	同意
同意第11号	板柳町農業委員会委員の任命（櫻庭妃咲美氏）	同意
同意第12号	板柳町農業委員会委員の任命（村上金幸氏）	同意
同意第13号	板柳町農業委員会委員の任命（會津丞氏）	同意
同意第14号	板柳町農業委員会委員の任命（成田一二三氏）	同意
同意第15号	板柳町農業委員会委員の任命（葛西利至氏）	同意
同意第16号	板柳町農業委員会委員の任命（米澤康春氏）	同意
議案第1号	板柳町ふるさとセンター施設使用条例の一部改正について	可決
議案第2号	令和５年度板柳町一般会計補正予算（第１号）	可決
議案第3号	令和５年度板柳町一般会計補正予算（第２号）	可決※
報告第1号	令和４年度板柳町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告のみ
報告第2号	令和４年度板柳町農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告のみ
報告第3号	令和４年度国民健康保険板柳中央病院事業会計繰越明許費繰越計算書について	報告のみ
議員発議第17号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書について	可決

※「可決※」は「賛否の分かれた議案」である。

○賛否の分かれた議案　　◆第14回定例会（令和5年６月）

議案 ＼ 氏名	楠美仁康	工藤貢	濱名康治	佐藤文俊	鈴木清孝	松森俊逸	今浩一	葛西幸男	長内良蔵	成田肇	三戸玲子	結果
議案第３号　令和５年度板柳町一般会計補正予算（第２号）	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	賛成７人　可決

※定例会及び臨時会については、広報いたやなぎにも掲載されています。

令和５年度板柳町一般会計補正予算（第２号）（議案第３号）

反対討論　長内良蔵議員（公正会）

我々公正会は、ふるさとセンターバーベキュー場整備そのものに反対するものではなく、むしろ町民同様、一刻も早い整備を望んでおりますが、ただその場所について問題があるのではないかと考え、反対討論させていただきます。

ふるさとセンターのバーベキュー施設については、これまで町当局から、町民の皆様により安全で快適な施設として整備するため、様々な問題を抱える、以前からあった場所から新たな場所が提示され、議会と多くの協議を重ねてまいりました。町民の皆様に喜ばれ、安心して楽しんでもらえる施設にするため、町では与野党関係なく、議員からのご意見やご提言を踏まえて、よりよい場所を提示していただきましたが、議員全員の理解を得られるまでには至っていない状態にあります。

葛西町長が提示された以前あった場所の近くには、温泉の源泉から発生する可燃ガスの排気筒があり、現に基準値の２倍のガスが排出しているほか、高圧受電設備も２基あり、距離を離したとしても、そのような場所で火気を使う施設を整備することが果たして町の施設として適切かどうか、大変疑問があります。

また、以前あった場所から野外トイレまで離れているため、夜間や雨降りの日は利用者にとっては大変不便な状態になっているほか、車の通り抜けもできない奥まった場所で、利用者からは分かりにくい場所だということで指摘されております。

葛西町長は、町民の声を聞き、町民目線で町政を進めると言っておりますけれども、安全性や利便性、快適性が期待できない場所にあえて造ろうとする町長のお考えは、町の将来に禍根を残さないかと非常に危惧しております。

バーベキュー施設は、毎年5,000人前後の方が利用していますが、さらに利用者を増やすためには場所が大きく左右されてきます。したがって、我々公正会は、ふるさとセンターの新たな魅力を発信できる場所として、多くの方が安心して快適に楽しんでもらえるよりよい場所にさらに検討していただきたく、バーベキュー施設の関係予算については反対の立場での討論といたします。

賛成討論　松森俊逸議員（創和会）

令和５年度一般会計補正予算（第２号）に対して、賛成の討論をいたします。私自身は、会派の代表で賛成討論するものではありません。一議員として賛成の討論をいたします。

今、長内良蔵議員の反対討論を聞いて、まるで前町長の成田誠氏がこの場から反対の討論をしているように思いました。前町政が進めてきた経緯をもう一度思い起こしてください。まず一番最初にやったのは、ふるさとセンター活性化のプランを提示しました。そして、約8,000万円をかけたバーベキュー施設の設置を議会に提案してきました。その後の経緯は、今ここでるる話す必要はありません。当初の予定であるふるさとセンター活性化プランを無視したあっちこっちの提案をして、今に至ったものであります。

先ほどの町長答弁の基本的な考えは、観光客相手ではありません。町民サービスの一環に軸足を置いた整備をするということを言っております。よって、その考え方が前町長との違いであろうかというふうに私は先ほど議席にて感じました。ぜひ町民サービスの向上のために一刻も早く整備するということに関しては、大賛成であります。危険施設があるからといっても、法的には全てクリアし、今回の提案は３メートル以上離した最善の提案であろうというふうに私は考えます。予算的にも、当初8,000万円で進めようとした前町政の考え方とは一線を画し、費用対効果も十分考えた案であろうというふうに思います。町長自身が町民の生の声をるる17年間聞いていたという話も、今日私は初めて知りました。その重みは、政治的に利用すべきではないというふうに思います。

ぜひ本案を議員全員の賛同の下、可決して、一日も早く、一刻も早く、このバーベキュー施設の町民サービスの向上という観点から整備を望むものであります。

視察・研修リポート

飯田地区水害被害地及び小幡地区河道掘削現場の現地視察

令和５年６月５日（月）
参加者：全議員（１２名）

飯田地区の様子

小幡地区の様子

原子燃料サイクル施設視察研修（六ヶ所村　日本原燃株式会社　等）

令和５年６月14日（水）
参加者：佐藤洋治議長、三戸玲子副議長
長内良蔵議員、葛西幸男議員
今　浩一議員、楠美仁康議員

板柳町議会 YouTube チャンネル公開中！！

板柳町議会が、
いつでも、どこでも、空き時間
でご覧いただけます！

◎アクセス方法

1　YouTube で「板柳町議会」と検索！
2　QRコードからもアクセスできます！

議会の動き（4月～6月）

開催日		会議等名
4月	11日	議会広報特別委員会
	〃	町例月出納検査（監査）
	25日	議会運営委員会
	〃	議会広報特別委員会
5月	2日	議会広報特別委員会
	9日	町例月出納検査（監査）
	15日	西北津軽郡町議会議長会定期総会
	16日	小学校統合問題検討特別委員会
	18日	議員全員協議会
	23日	全国町村議会議長会議長副議長研修会
	25日	議案説明会
	30日	議会運営委員会

開催日		会議等名
6月	5日	本会議（開会、定例会日程・町長の提案理由等）
	〃	飯田地区水害被害地及び小幡地区河道掘削現場現地視察
	7日	一般質問
	8日	総務産業厚生常任委員会
	〃	福祉建設文教常任委員会
	9日	議員全員協議会
	〃	本会議（委員長報告、採決、閉会）
	13日	町例月出納検査（監査）
	14日	原子燃料サイクル施設視察研修（六ヶ所村）
	27日	議会広報特別委員会

編集後記

町民のみなさんこんにちは。

コロナも落ち着いて、外出の機会が多くなりつつある今日この頃ですが、コロナだけではなく、これからの時期は、熱中症にも気をつけてください。

また、夏休み中の子ども達の事故や怪我、一人暮らしの高齢者にも町民みんなで気配りしましょう。

（委員　濱名　康治）

【発行責任者】
議長　佐藤　洋治

※第39号発行予定は11月10日頃です。議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。

■発行／板柳町議会　■編集／板柳町議会広報特別委員会
〒038-3692　青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井 239-3　TEL:0172-73-2111　FAX:0172-73-2120
URL https://www.town.itayanagi.aomori.jp/gikai/index.html